

令和4年度 FD 実施計画書・報告書

令和5年4月現在

I 学部学科・研究科名

教育学部 児童幼児教育学科

II-1 実施計画①【概要】

II-2 実施報告①【概要】（年度末記入）

取組N°	A FD センター重点項目	FD2021 取組項目	A FD センター重点項目 達成内容
1	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・ DP ルーブリックの策定 ・ DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討	I-1-(1)	・ 年間を通して、既存の「教職ルーブリック」と「保育職ルーブリック」の再確認・再検討を実施。学部における DP ルーブリックの現状と課題が共有された。 ・ アセスメントプランについては、令和5年度開始の新カリキュラム（23カリ）の運用を見据えながら、DP ルーブリックの検討とともに試案が作成された。
2	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・ 各学科におけるルーブリック導入率（授業ルーブリック・課題ルーブリック）の向上 ・ ルーブリック共通フォーマットを授業担当者へ周知	I-2-(1)	・ ①授業ルーブリック・②課題ルーブリックの実施率は、それぞれ①39% ②27%であった。
3	Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し ・ 数理・データサイエンス・AI に関連する科目等のカリキュラム化	I-1-(4)	・ 令和5年度開始の新カリキュラム（23カリ）の運用を見据えながら、数理・データサイエンス・AI に関連する科目等が設定された。
4	「成績評価ガイドライン(仮)」のポリシー策定 ・ 「成績評価ガイドライン」に基づく各学科・研究科の実施要領の策定	I-2-(2)	・ 「教育学部成績評価ガイドライン実施要領 2023」が策定された。本ガイドラインに則った成績評価については、令和5年度より実施していくことが確認された。
5	各学科・研究科内 FD 研修会と情報共有の場の推進	I-2-(3)	・ 年間を通じて計画的な FD 研修の展開を図り、教職協働を意識しながらの教育の質保証（DP 保証）と研究活動の充実に向けた取り組みが展開された。令和5年度開始の新カリキュラム（23カリ）の構築に向けた取り組みが積極的に推進された。
取組N°	B その他取り組み項目		B その他取り組み項目 達成内容
6	特になし		

Ⅲ-1 実施計画②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】

Ⅲ-2 実施報告②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】 (年度末記入)

組 No.	予定時期	内容	実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
1 ・ 3 ・ 5	4 月	テーマ1「令和4年度FD活動プランについて」 ・令和4年度事業計画の活動プランの説明。業務分掌、教務関連スケジュール、研究関連スケジュールの確認。 (話題提供:FD委員・FDセンター委員・各計画の担当当事者・各種委員／カテゴリ:全般) テーマ2「3つのポリシーの再確認と令和5年度教育課程及び23カリについて」 ・令和5年度教育課程について。令和5年度(2023年度)から開始する教育課程(23カリ)の概要と開始までのスケジュールについて。 (話題提供:教務委員・カリキュラム検討委員会／カテゴリ:教育) テーマ3「教育実習のための在外教育施設との協定締結について」 ・協定締結候補先(オーストラリア)における現地施設訪問報告。協定内容と協定締結に向けた今後のロードマップについて。 (話題提供:FD委員・教職課程委員会／カテゴリ:教育)	4 月 7 日	テーマ1:令和3年度の学部FD研修・実施の点検結果の報告ならびに第8次中期総合計画に基づく令和4年度事業計画の目標(テーマ2及びテーマ3)達成に向けた学部FDの年間活動プランの説明を実施。業務分掌を明確にし、教務的な業務及び教育・研究の充実に資するFD実施に関連するスケジュール等の共有が図られ、4月学科会議にて了承された。 テーマ2:令和4年度教育課程ならびに令和5年度(2023年度)から開始する教育課程(23カリ)の概要と開始までのスケジュールの再確認とカリキュラム改訂に向けた進捗状況について、確認と共有が図られた。 テーマ3:担当者より、教育実習等にかかる在外教育施設との協定締結に向けたロードマップの再確認とオーストラリア現地校の選定にかかる報告がなされた。併せて、23年度開始の新カリキュラムにおける関連授業の位置付け等について確認と共有が図られた。
1 ・ 2 ・ 4	5 月	テーマ「成績評価ガイドライン実施要領の策定及びDPルーブリックの策定に向けた取り組みについて」① ・成績評価ガイドラインを踏まえた検討及びDPの再確認とDPルーブリックに関する検討 (話題提供:FD委員・FDセンター委員・教務委員・カリキュラム検討委員会／カテゴリ:教育)	5 月 12 日	FD委員より、FDセンターが示す「成績評価ガイドライン」を参考に、教育学部のDPを踏まえた「教育学部成績評価ガイドライン実施要領2023」策定に向けた今後の予定等について、確認と共有が図られた。

5	6 月	テーマ「直近 3 年間の進路状況と展望に基づく教職指導・保育職指導の提案について」 ・昨年度の学生の進路に関する状況。今年度の教職指導・保育職指導の方針。 （話題提供：就職委員・教職課程委員会・保育課程委員会・連携推進部／カテゴリ：教育）	6 月 2 日	就職委員ならびに教職課程委員会・保育課程委員会の担当者より、学生の卒業後の進路（就職）に関する実態の報告と共に、教職指導・保育職指導の現状と課題にかかる認識の共有を図り、学生指導の参考となる知見の共有が図られた。
1 ・ 5	7 月	テーマ「研究活動の活性化について」 ・科学研究費をはじめとする競争的研究資金の獲得や学内研究支援制度への申請に向けて学部教員の研究テーマを相互に知る機会とし、共同研究の可能性を探る。国の教育・保育政策に係る最新情報の共有と研究シーズの共有。 （話題提供：研究委員・連携推進部／カテゴリ：研究）	7 月 7 日	研究委員より、令和 3 年度科学研究費助成事業等、外部競争的資金を活用した研究テーマ・受託状況や令和 4 年度基盤研究課題にかかる調査結果の報告が行われた。教員相互の研究に関心をもつ機会とし、今後の共同研究の可能性を探る機会とした。
1 ・ 2 ・ 4	8 月	テーマ「成績評価ガイドライン実施要領の策定及び DP ルーブリックの策定に向けた取り組みについて」② ・成績評価ガイドライン実施要領と DP ルーブリック内容の最終確認。 （話題提供：FD 委員・FD センター委員・教務委員・カリキュラム検討委員会／カテゴリ：教育）	8 月 4 日	FD 委員より、教育学部が示す DP を踏まえた「教育学部成績評価ガイドライン実施要領 2023」最終案が示され、8 月学科会議にて了承された。
1 ・ 2 ・ 5	10 月	テーマ「学生が自立する学習者になる手立てについて」 ・授業ルーブリック、課題ルーブリック、ポートフォリオ、ICT を活用した授業について。 （話題提供：FD 委員・FD センター委員・先行実践教員／カテゴリ：教育）	10 月 6 日	学部教員より、「授業におけるルーブリック評価表作成の試み」と題して、学生参画によるルーブリック評価表の作成と活用にかかる取り組みの現状と課題について報告がなされ、参考となる知見の共有が図られた。

5	12 月	テーマ「数字やエピソードから見る学生の特徴と教員の相談窓口について」 ・休学、退学、配慮申請、学力レベル、技能レベル、学生生活アンケート等のデータを踏まえて。 （話題提供：学生委員・学生部・入試広報部・LSS）	12 月 1 日	学生委員ならびに学生部長より、令和 4 年度の「学生生活実態調査」の結果が示され、教育学部の学生の生活実態を踏まえつつ、配慮を要する学生への対応の現状や課題等について報告がなされ、共有が図られた。
5	1 月	テーマ「社会連携の事例について」 ・教育学部の社会連携事例の実態と取り組み事例を報告。事例には「付属幼稚園との食育関連の連携推進」「付属保育園連絡協議会」を含む。 （話題提供：FD 委員・事例報告者・保育課程委員会／カテゴリ：社会連携）	1 月 12 日	担当者より、「城南区における親子の居場所づくり活動」と題して報告がなされ、教育学部における地域連携の成果と課題の共有が図られた。
5	3 月	テーマ「令和 5 年度 FD 実施計画について」 ・令和 4 年度の事業計画の達成度評価と令和 5 年度の事業計画および令和 5 年度の FD 実施計画について。 （話題提供：FD 委員・FD センター委員・各目標の担当者／カテゴリ：全般）	3 月 2 日	令和 4 年度の学部 FD 研修実施にかかる点検結果ならびに第 8 次中期総合計画に基づく令和 5 年度（最終年度）事業計画の目標達成に向けた学部 FD の年間活動プラン（案）の説明が行われた。
その他		・9 月は全学の教育ワークショップに参加。 ・11 月と 2 月は予備回とする。 ・新たに着任した教員をスピーカーとするランチョンセミナーや教職員間の情報共有を目的とする「fd（ミニ FD）ラウンドテーブル」を不定期に実施する。また、各目標に対応する事業の進捗状況や情報交換は学部の Teams で必要に応じて共有する。 ・第 7 回中村学園教職教育研究会（令和 5 年 3 月）において、教職教育や保育者養成教育に関する研究の成果を共有し、研究と教育の展望について意見交換を行う。これを踏まえた上で、第 8 次中期総合計画（3 年目）の事業計画の再確認を行う。		